



年 組 名前

道新ワークシート

おいしい水道水 今年も

市、無料スポットの運用開始

苫小牧市は、水道水を自由にくめる駅前本通りの無料給水スポット（表町6）の運用を今年も始めた。持参した容器に24時間水をくめ、凍結が見込まれる11月上旬ごろまで利用できる。

4月25日午前11時ごろ、市上下水道部の職員が給水スポットの蛇口をひねり、水を消毒するために使われている塩素濃度を測定。水道水として適切な塩素が含まれていると確認した。



給水スポットの水道水の水質を検査する市職員
＝4月25日

この場所に1987年から設置されていた水飲み場を2020年に改装。水道水は、水質日本一にも選ばれた幌内川などを水源とする高丘浄水場から供給され、まろやかな口当たりとこのごしの良さが特徴だ。

給水スポットでは24年度、前年度と比べ約300リットル多い約8450リットルの水道水が提供された。水道水を加熱して塩素を除去し、ボトル詰めした人気商品「とまチョップ水」（1本500ミリリットル、希望小売価格100円）に換算すると約1万6900本分にのぼる。

水筒の普及や、全国の無料給水スポットを紹介するアプリでも紹介されていることから、出張者や運動中の市民にも好評を得ている。同部は「おいしい水道水を無料で飲み、苫小牧の良さの一つを感じてほしい」と呼びかける。（佐藤愛未）

2025年5月8日（木） 朝刊 苫小牧・日高版 14ページ

- （1） 苫小牧（とまこまい）市にある駅前本通り（えきまえほんどおり）の無料給水（むりょうきゅうすい）スポットは、どのようなところですか。
- （2） 苫小牧市の水道水（すいどうすい）は、どうしておいしいのでしょうか。
「浄水場（じょうすいじょう）」「水質（すいしつ）日本一」のどちらかの言葉を入れてそのわけを説明（せつめい）しましょう。